

東法連ニュース

2023年
(令和5年)
3月号
第433号

一般社団法人 東京法人会連合会 © 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5番6号 全法連会館3階

TEL 03-3357-0771 (代) URL : <http://www.tohoren.or.jp> Mail : info@tohoren.or.jp



あいさつする金子俊平
財務大臣政務官



あいさつする小林栄三
全法連・東法連会長



乾杯をする重藤哲郎
東京国税局長



あいさつする阪田渉
国税庁長官



講演する
藤崎一郎氏



あいさつする小池百合子
東京都知事

令和5年新年賀詞交歓会が、全法連との共催により、1月20日、帝国ホテルで、来賓、会員あわせて約150名(うち東法連関係は約70名)が参加して開催された。コロナ禍にあつて参加者数は従前の3分の1に縮小された。

当日は、小林栄三全法連・東法連会長による新年のあいさつで開会。続いて来賓を代表して、金子俊平財務大臣政務官及び阪田渉国税庁長官があいさつ、乾杯は重藤哲郎東京国税局長が行った。交歓会には、小池百合子東京都知事や福利厚生制度協会社長の3社長らの来賓が列席した。また、交歓会に先立って、元駐米大使の藤崎一郎氏を講師に迎え、「米中対立の行方と日本の対応」の演題で新春記念講演が行われた。

続いて、叙勲・納税表彰受章祝典(主催)が行われた。叙勲・納税表彰受章祝典(主催)は、国税庁長官納税表彰受章者の左から出井久幸理事、三田芳裕理事、増田充孝理事、財務大臣納税表彰受章者の南山幸弘副会長(右)に贈呈された。なお、国税庁長官納税表彰受章の高野吉太郎理事(新宿法人会会長)は欠席された。令和4年春の叙勲では、小林栄三会長が旭日重光章を受章している。



国税庁長官納税表彰受章者の左から
出井久幸理事、三田芳裕理事、増田充孝理事



財務大臣納税表彰受章者の
南山幸弘副会長(右)



叙勲・納税表彰受章祝典

新年賀詞交歓会 新春記念講演は 「米中対立の行方と日本の対応」 全国から150名が参加して開催

催・全法連)が開催され、受章者60名のうち列席された39名に小林会長から記念品が贈呈された。東法連関係では、令和4年度財務大臣納税表彰を受章した南山幸弘副会長(豊島法人会会長)、国税庁長官納税表彰を受章した出井久幸理事(麹町法人会会長)、三田芳裕理事(日本橋法人会会長)、増田充孝理事(葛飾法人会会長)4氏に贈呈された。

令和5年度事業計画等を審議 単位会の広報活動に関する表彰を選考

広報委員会



あいさつする
加藤和夫委員長

令和4年度
第2回広報委
員会(加藤和
夫委員長・
青梅法人会会

会員増強のための広報活動の充
実」とともに、「一般に対しての
税の啓発活動をはじめとする公益
性の高い広報の推進に努める」と
している。

長)が、2月2日全法連会館で開
催され、令和5年度事業計画につ
いての審議、単位会の広報活動に
関する表彰の選考を行なった。

具体的な事業としては、引き続
き「税を考える週間」や「確定申
告期」の電車内広告、e-Tax
などのポスターの作成配布、パブ
リシティ活動などを行う。



表彰会を選考する広報委員会

令和4年度単位会の広報活動に関する表彰 受賞会(法人会順)

- 浅草法人会 地域密着型ネットTVを活用した新しい広報活動
- 新宿法人会 働く人のための地震防災マップ 会社の防災対策
- 板橋法人会 チャリティコンサート 音楽の絵本
- 八王子法人会 税の絵はがき入選作品の市役所封筒への掲載

単位会の広報活動に関する表彰
の選考は、令和4年度は6会から
応募があり、審査員である広報委
員長、副委員長、委員が行った。
その結果、浅草、新宿、板橋、八
王子法人会の4会を選出した。各
会の活動内容は別掲の一覧表を参
照。例年表彰会は3会としていた
が、今回は出席委員の総意で4会
とした。上位4会への支持が拮抗

単位会の広報活動表彰 浅草、新宿、板橋、八王子法人会の 4会を選出

令和5年度事
業計画では、「法
人会の知名度の
向上、会員への
会活動の周知、

しており、いずれもが他の会に大
いに参考となる内容であった。
なお、3月17日に開催される広
報委員会連絡協議会において、表
彰式とともに、表彰会による事例
発表を行うこととしている。

全体連絡会議を開催

健康経営プロジェクトをテーマに
グループディスカッションを実施

東法連青年部会連絡協議会

会担当副会長
(雪谷法人会会
長)のあいさつ
で開会した。
続いて、東京

東法連青年部会連絡協議会は、
2月7日、全体連絡会議を、新宿
のハイアットリージェンシー東京
で開催した。

局連青年部会長サミットが行われ
た。冒頭、全法連青年部会連絡協
議会の佐藤知樹会長のあいさつの
後、全法連健康経営トータルディ
レクターの小杉善文氏を講師に迎
え「財政健全化のための健康経営
プロジェクト」をテーマに講義が
あった。講義では、同プロジェク
トの意義や健康経営宣言書の提出



あいさつする佐藤知樹
全法連青連協会長



あいさつする金山宏
青年部会担当副会長



あいさつする酒井透
東法連青連協会長



講演する
杉村太蔵氏



講義する小杉善文
全法連健康経営
トータルディレクター



白熱したグループディスカッション

屋外大型ビジョン広告

【実施期間】

令和5年2月13日(月)から2月19日(日)

【実施場所】

- ①新橋駅SL広場横
「新橋FAROシティビジョン」(第1ブロック)
- ②御徒町
「H.A.Z AMEYOKO VISION」(第2ブロック)
- ③渋谷スクランブル交差点
「DHC Channel」(第3ブロック)
- ④新宿駅東口
「アルタビジョン」(第4ブロック)
- ⑤錦糸町駅南口
「錦糸町楽天地ビジョン」(第5ブロック)
- ⑥立川駅北口
「ISETAN TACHIKAWA VISION」(第6ブロック)



新橋SL広場横
新橋FAROシティビジョン

東法連青連協では、確定申告が始まる2月中旬に都内6か所の街頭ビジョンで法人会とe-TaxをPRした。

確定申告期に街頭ビジョンで法人会とe-TaxをPR
終了後、元衆議院議員の杉村太蔵氏を講師に、「杉村太蔵が語る資産形成と人生設計」新しくなるNISA制度について」と題し講演があった。

状況などの説明があった。講義後、出席者が10のグループに分かれ、いかにして健康経営活動を実施する企業を増やすかについてグループディスカッションを行った。

令和5年度事業計画等を審議
税制改正要望「たたき台」を作成
税制税務委員会

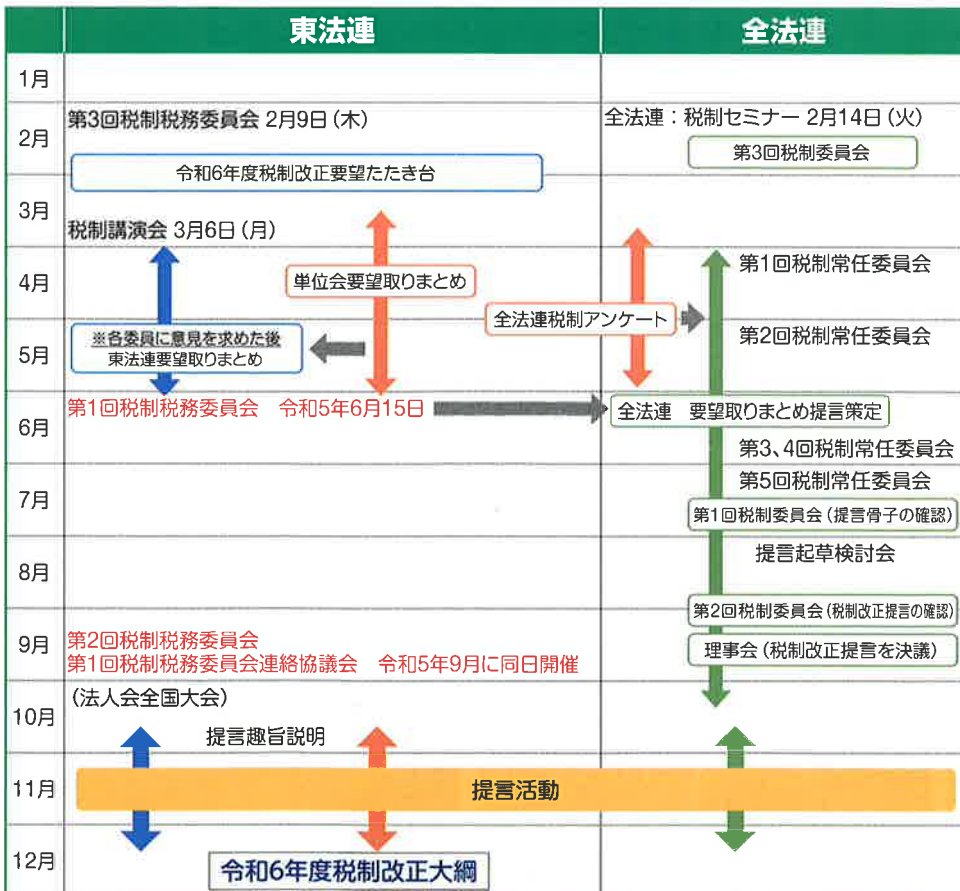
税制税務委員会

令和4年度第3回税制税務委員会(青柳晴久委員長・四谷法人会会長)が、2月9日全法連会館で開催され、令和5年度の事業計画、令和6年度税制改正要望の取りまとめ等について審議を行った。

令和5年度事業計画では、「納税意識の向上と税知識の普及に資するための施策の推進」と「税制に対する調査研究と要望活動の推進」を掲げており、前者では、「電子申告制度やインボイス制度の周知に引き続き注力し、電子帳簿保存法対応や電子取引等に資するコンテンツの充実を図り、広く提供する事で各制度の普及に努めていく。」としている。

具体的な活動計画では、「令和6年度税制改正要望のとりまとめ」、「税制改正等への対応」、税関連の研修、「租税教育」等について例年どおり活動を行っていくことが示された。

＜令和6年度税制改正要望とりまとめスケジュール＞



令和6年度税制改正要望のとりまとめにあたっては、東法連事務局が作成した「たたき台」が示され、これを活用して各単位会において議論、と提言策定決議までのスケジュールは別掲のとおり。

令和5年度は制度加入企業拡大キャンペーン 「challenge100」(仮称)を推進

厚生共益事業委員会



あいさつする
高橋利充委員長

東法連第2
回厚生共益事
業委員会(高
橋利充委員
長・練馬西法

人会会長)が、2月16日、全法連
会館で開催され、令和5年度事業
計画について審議した。

事業計画のうち「研修の充実」
では、多様なニーズに応える研
修・セミナーの開催に努める。こ
のためWeb配信を積極的に活用

し研修内容の充実を図るとしてい
る。「厚生共益事業の拡充」では
全法連が展開する新規福利厚生制
度キャンペーンの推進に積極的に
協力する。また、がん保険制度が
40周年を迎えることから、アフ
ラックが行うキャンペーンを支援し
する他、協力3社独自の施策に協
力し、制度加入企業数の増加を目
指すとしている。

具体的な施策として、福利厚生



令和5年度事業計画を審議する厚生共益事業委員会

事業では、全法連の「福利厚生制度
加入企業拡大キャンペーン「cha
llenge100」(仮称)」に対
する東法連独自の特別表彰、推進大
会などを実施する。
共益事業では、会員企業のメリッ
トを追求した会員サービスを推進す
るとしており、新規事業として、会
員制メデイカルクラブ「セントラル
メデイカルクラブ世田谷」を導入す
ることになった。

なお、「福
利厚生制度創
設50周年キ
ャ
ン
ペ
ー
ン」進
捗状況は、令
和4年12月末
現在で、全法
連ベースで
76・0%、東
法連ベースで
79・2%との
報告があった。

AIIG損保が 「震災対策技術展」に出展

法人会の福利厚生制度を取扱うA
IG損保は、2月2・3日に横浜市
のパシフィコ横浜で開催された第27
回「震災対策技術展」に神奈川県連
と共催により出展した。同技術展に
は、防災に関わる研究、技術開発な
どを手掛ける団体、企業などが数多
く出展している。

AIIG損保は、ジオラマに水を流
し込むことで、横浜市中心部の浸水
状況を実演し、想定される浸水被害
を説明するとともに、VRを用いて
横浜中華街付近の浸水被害を体験で
きるコーナーなどを設置し、来場者
に地震や津波の発生に備えた防災対
策の重要性を訴えた。

その他、東日本大震災により多大
な被害を受けた(株)海祥代表取締役大
友史祥氏を講師に迎え、被災企業講
演を開催した。同氏は被災当時を振
り返り、法人会の企業地震保険によ
る補償がなければ事業の再開は難し
かったと語った。



講演する大友史祥氏(右)



横浜の街の浸水被害を想定したジオラマの展示



出展した神奈川県連とAIG損保のブース